第３３２回　令和８年１１月１８日（水）

「人類滅亡を企てる悪の秘密結社とは」

むかしのヒーローが出てくる子ども向けのテレビ番組では人類滅亡を企てる悪の秘密結社がとてもわかりやすい悪役として登場しました。親玉のまわりに「はかせ」とかの名称で、科学的に人類を滅ぼそうとする天才科学者などがいることがおおかったような気がします。
最後は必ず正義の味方に倒されて、地球の平和は守られるわけです。

今年は初夏のころに熱波によってヨーロッパで何万人もの方が亡くなりました。いままでは冷房のなかった国で、40 度を優に超える最高気温が出て、熱中症や溺死が急増しました。

夏の終わりにネパールでは氷河が溶けたことによって大洪水が発生して推定でも何千人という規模に達する犠牲者が出ました。氷河が溶ける影響はこの後も続き、地球規模の海面上昇や雪解け水の減少による水不足、さらには水不足からくる農作物の不作で世界的な食糧難が起きると言われています。

日本国内でも何十年に一度しか見ないような豪雨が全国各地で起きました。天気予報であまり聞いたことのなかった線状降水帯という言葉が日常になり、アンダーパスで水没して亡くなるニュースが複数おきました。
エサのなくなったクマは毎日のように街に出て多くの人が襲われ、シカの異常発生で山が茶色になった映像も見られました。

これらの自然現象はある一つのことに起因していますよね。地球温暖化による異常気象です。地球温暖化は明らかな事実で、これからも拡大していくことは間違いありません。
そして原因は二酸化炭素の排出など、人類の文明の発展にあります。

人類滅亡を企てる悪の秘密結社は人類自身なのかもしれません。人類が行動を改めない限り地球規模の災害は続いていきます。すでに改めても元には戻らないところまできているのかもしれません。

悪を滅ぼす正義の味方はＡＩなのかもしれませんね。地球を救うための選択としてＡＩが人類を攻撃したとしてもおかしくないような気がします。地球のために悪い影響の原因を取り除こうとするのは誰でもわかる簡単な答えです。

ヒーロー番組では悪役が考え方を変えて善玉になったりしました。人類がＡＩとともに地球の平和を取り戻す、善玉に変わってくれる日は来るのでしょうか。そろそろ最終回がせまってきているように感じます。